

## 地震・噴火等の災害対策



## 工場・建設現場での防塵対策

### ご使用場所

- ・ 粉じんの発生が予想される場所
- ・ 有害ガスの発生が予想される場所
- ・ 微粒子物質と有害ガスが混在する場所
- ・ アスベストなどの飛散が予想される場所
- ・ 地震・火山噴火などの災害発生現場
- ・ 粉じん発生工場や建設現場

NIOSH規格 **N99**

EN規格 CE EN149

**2001FFP3 NR**

性能達成

### 特長

- ・ 高品質の特殊活性炭素繊維を使用しています。
- ・ 有害ガスや粉じんなど混在する場所で威力を発揮します。
- ・ ノーズピース、ウレタンにより顔面へピッタリ密着します。
- ・ ヘッドバンドにより作業中の脱落を防ぎ、脱着も楽にできます。



### ◇仕様

- ・ サイズ：大人用
- ・ 標準色：ブルー（内面：白）
- ・ ヘッドバンドタイプ

### 販売単位

- ・ 20個 / 箱 × 20箱 = 400個 / 梱
- 小売り販売
- ・ 20個入り箱
- ・ 5個、2個セット

※EN規格は、欧州のEU統合により新しく制定された欧州統一規格です。

米国NIOSH規格N95マスクと同等性能【EN149 FFP2】に適合しています。

実性能では、最も高性能な【EN149 FFP3】規格を達成しています。

※労働安全衛生法に定められた作業環境では対応する国家検定品を使用ください。

### ◆マスク性能 CE EN149:2001 FFP2 NR

ろ過率 (E)	99.9 %	
微粒子ろ過率 (PFE)	99.9 %	
空気交換圧 (ΔP)	8.11mmH <sub>2</sub> O/cm <sup>2</sup>	
血液不浸透性 (FR)	120mmHg - none	
吸着活性	イソプロピルアルコール	10.0 %
	アセトン	12.5 %
	トルエン	13.5 %
	ブタン	13.0 %

ご注文

オンラインショップ：<http://so-en.shop-pro.jp/>

総販売元

**so-en**  
think earth

**株式会社ソーエン**

〒370-0018

群馬県高崎市新保町1665-1反町ビル

TEL 027-352-4857 FAX 027-352-4875

URL <http://so-en.net/> email:info@so-en.net

# 活性炭素繊維マスク 【コーンタイプ】

## 性能試験表

項目	結果	試験方法
1.微粒子ろ過率（PFE） （0.26μm、NaCl）	99.91%	BSEN149-2001 7.9.2、質量基準中央径：0.26μm NaCl、フローレート：95Liter/min
2.ろ過率（E）	99.927%	試験計器TSI Model8130 質量平均直径：0.26μm、NaCl
3.呼吸抵抗（P）	20.2mmH <sub>2</sub> O/cm <sup>2</sup>	フローレート：95±0.2Liter/min
4.空気交換圧（P）	8.11mmH <sub>2</sub> O/cm <sup>2</sup>	MIL-36945C 4.4.1.2
5.呼吸抵抗	1.77mBar (18.06mmH <sub>2</sub> O)	BS EN 149-2001 7.16
6.血液不浸透性（FR） ：120mmHg	1～10 none	ASTM F1862-2000
7.イソプロピルアルコール吸着活性	1 10.0 % 2 10.0 % 3 9.8 %	ASTM D3467-94
8.アセトン吸着活性	1 12.5 % 2 12.5 % 3 13.0 %	ASTM D3467-94
9.トルエン吸着活性	1 13.5 % 2 13.5 % 3 14.0 %	ASTM D3467-94
10.ブタン吸着活性	1 12.5 % 2 13.0 % 3 13.0 %	ASTM D5742-9
11.ホルムアルデヒド除去比率	8.0 %	1m <sup>3</sup> のチャンバー内のホルムアルデヒド10ppmにて設定。
12.アンモニアNH <sub>3</sub> 除去比率	10.0 %	1m <sup>3</sup> のチャンバー内のアンモニア10ppmにて設定。
13.ベンゼン除去比率	7.45%	1m <sup>3</sup> のチャンバー内のベンゼン10mg/m <sup>3</sup> にて設定。
14.シクロヘキサノC6H12除去比率	5.42%	1m <sup>3</sup> のチャンバー内のシクロヘキサノ10mg/m <sup>3</sup> にて設定。
15.抗菌性(S)肺炎かん菌	S=3.15	JIS L1902
16.抗菌性(L)肺炎かん菌	L=0.04	ATCC No.4352
17.抗菌性(S)緑膿菌	S=3.7	JIS L1902
18.抗菌性(L)緑膿菌	L=0.04	ATCC No.9027
19.抗菌性(S)黄色ブドウ球菌	S=2.95	JIS L1902
20.抗菌性(L)黄色ブドウ球菌	L=0.84	ATCC No.6538P
21.抗菌性(S)大腸菌	S=4.05	JIS L1902
22.抗菌性(L)大腸菌	L=0.85	ATCC No.8739
23.抗菌性(S)サルモネラ菌	S=2.3	JIS L1902
24.抗菌性(L)サルモネラ菌	-	ATCC No.13311
25.カドミウム	N.D.	IEC 62321:2008 25.カドニウムの規定はICP-AESに基づく
26.鉛	N.D.	26.鉛の規定はICP-AESに基づく
27.水銀	N.D.	27.水銀の規定はICP-AESに基づく
28.Cr(VI)	N.D.	28.Cr(VI)の規定は紫外/可視分光測定に基づく
29.PBB全体	N.D.	29.PBBの規定はGC/MSに基づく
30.PBDE全体	N.D.	30.PBDEの規定はGC/MSに基づく
31.遠赤外発光	80.0%	60 以下の条件値で計算

### 【注記】

- 項目1.微粒子濾過率(PFE)は、固体微粒子の濾過された率を示します。
- 項目4.空気交換圧(ΔP)は、呼吸のしやすさを示します。
- 項目6.血液不浸透性(FR)は、液体(血液)が飛散した場合どの程度の圧力に耐えるかを示します。
- 項目1、4～5及び6の結果は(財)紡織産業総合研究所発行の報告書に基づきます。
- 項目2及び3の結果は工業技術研究院発行の報告書に基づきます。
- 項目7～10の結果は中山科学研究院化学研究所発行の報告書に基づきます。
- 項目11～31の結果は台湾検験科技股份有限公司発行の報告書に基づきます。